

令和8年度 佐倉市立小竹小学校グランドデザイン

千葉県教育目標

(第4期千葉県教育振興基本計画より)

【基本理念】

人生をしなやかに切り拓き、千葉の未来を創る「人」の育成
～一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自分らしく活躍するために～

【基本目標】

- ①子供たちの自信を育む教育の土台づくり
- ②未来を切り拓く「人」の育成
- ③地域全体で子供を育てる体制と全ての人が活躍できる環境づくり

佐倉市の教育目標

(「佐倉教育ビジョン」より)

【基本方針】

- ①子どもの「輝く」力の向上をめざす (学校教育)
- ②子どもが「輝く」ための教育環境の整備・充実をめざす (教育環境)
- ③市民や地域の「輝く」力の向上をめざす (生涯学習)
- ④佐倉の「輝く」力の向上をめざす (文化・芸術)

学校教育目標

「豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童」の育成

－ (知) かしこく (徳) やさしく (体) たくましく －

めざす児童像

- (知) かしこく
 - よく聞き、よく考え、進んで学習する子。
 - 自分の思いを、自分の言葉で発信できる子
- (徳) やさしく
 - 思いやり、助け合い、友達と高め合う子
 - 安全な生活に心がけ、進んで挨拶ができる子
- (体) たくましく
 - 粘り強く前向きに取り組む子
 - 自分の体をよく知り、意欲的に運動する子

めざす学校像

- 安心して学べる学校
- 子供がやりがいを感じ生き生きとした学校
- 家庭、地域に信頼される学校
- 学ぶ環境の整った美しい学校

めざす教師像

- 教育公務員としての高い倫理観と使命感をもち、児童や保護者から信頼される職員
- 指導技術の向上に努め、子どもをより良く変容させる指導力のある職員
- 児童や保護者の願いや思いに耳を傾け、児童に学びながら成長できる職員
- 互いに理解し合い、相互に連携・協力し合って課題を解決する職員

< 学校経営の指針 >

- 1 学ぶ意欲を大切にし、主体的に学習に取り組む児童を育成する。
- 2 思いやりや感謝の心、互いを認め合える心の醸成を図る。
- 3 自ら考え行動し、心身ともに健やかな児童を育成する。

学校経営の努力点及び留意点

1 学ぶ意欲を大切にし、主体的に学習に取り組む児童を育成する。

- ◆個に応じた指導の充実を図るとともに、児童一人一人に活躍の場を与え、主体的に学習に取り組む児童を育成する。
- ◆「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善の推進により、確かな学力を育成する。(ICT活用の推進)
- ◆一人一人のニーズに応じた特別支援教育を推進する。(インクルーシブ教育への理解と児童支援、交流学級との連携)
- ◆学校司書、読み聞かせボランティアの活用や朝の読書活動を推進することで読書習慣を身につけ、豊かな情操を養う。
- ◆授業規律の徹底を図るとともに、全教科共通で授業の流れを確立する。(小竹小スタンダード)

2 思いやりや感謝の心、互いを認め合える心の醸成を図る。

- ◆達成感、満足感のある学校生活の推進を図る。(生徒指導の機能を生かした授業展開、わかる授業、楽しい活動の構築)
- ◆「学校いじめ防止基本方針」のもと、いじめ及び不登校の未然防止と早期発見・早期解消に努める。
- ◆児童・保護者の声に耳を傾けながら児童理解を深めるとともに、教育相談の推進により、教師と児童・保護者の信頼関係を構築する。(きめ細やかな学級経営、教育相談時間の確保)
- ◆「たてわり活動」による異学年との交流や道徳教育の充実を通して、自他を大切にする思いやりの心を育てる。(「みんななかま」を合言葉にした取組)

3 自ら考え行動し、心身ともに健やかな児童を育成する。

- ◆運動の日常化を定着させ、意欲的に運動に取り組むことができる児童を育成する。(正課体育における運動の質の向上、リズムなわとびの奨励、体育的な遊びの推進)
- ◆自分や友達の身の安全を守ることができる児童を育成する。(日常生活での具体的な保健・安全指導による危機管理能力の向上)
- ◆食に関する指導を推進し、心身ともに健康の維持を図る。(栄養教諭との連携による食育指導)

4 連携・協力 信頼される学校・教職員

- ◆相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上を図る。
 - ・教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化
 - ・支え合う協働的な関係の構築
 - ・相談・連絡・報告による課題への迅速な組織的対応
 - ・規律ある職場環境、不祥事防止研修とモラル・アップ委員会の充実
- ◆安全・安心で、信頼される学校づくり
 - ・施設・設備・教材の点検・修繕 ・安全に配慮した教育活動の実施
 - ・防災・防犯・交通安全指導の実施・各種マニュアルの整備と改善
 - ・授業参観・懇談会・保護者面談による相互理解の推進
 - ・教育活動の積極的な公開と発信(学校ホームページ、マチコミタイムライン、各種たより等)